



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2023 4 月号  
Vol.146  
毎月1回発行(通巻146号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.JMMPA.jp/>

## 第12回 全国医療経営士実践研究大会・大阪大会 大会テーマ決定 医療経営士が創造する病医院の未来像 進化する医療経営とその成長戦略

日本医療経営実践協会は、2023年10月8日(日)、大阪市のブリーゼプラザ・小ホールにおいて、全国医療経営士実践研究大会を開催する。参加者が会場に集まるのは2019年の仙台大会以来4年ぶり。ぜひ会場に足を運び、参加者同士交流を深めていただきたい。

### 初開催となる大阪の地で 医療経営の進化を考える

2020年より新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催が続いていた全国大会。新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5月8日より5類に移行することを踏まえ、第12回となる今大会は大阪大会として会場で開催されることになった。

大会テーマは、「医療経営士が創造する病医院の未来像」進化する医療経営とその成長戦略。団塊の世代すべてが後期高齢者になる2025年を目前に控え、高齢者数がピークを迎える2040年を見据える今、どのような病医院の未来像を描くのか。ウィズコロナ社会で一人ひとりの医

療経営士に問われる問題に対し、全国大会の場でありと答えを見つけていた。大会運営委員長を務めるのは日本医療経営実践協会関西支部支部長の医療法人清水会理事長・清水鴻一郎氏。2014年の京都大会以来、2度目の就任となる(清水氏のコメントは2面に掲載)。

### 徳洲会理事長の登壇が決定 演題発表の募集もスタート

大会プログラムも固まってきた。特別講演には医療法人徳洲会理事長の東上震一氏が登壇。基調講演は大会運営委員長の清水氏が務めるほか、昨年の「第5回医療経営に関する研究助成」指定課題部門において「医療における生産性の向

上」をテーマとして採択された神奈川県立保健福祉大学ヘルスインベーション研究科准教授の渡邊亮氏による最終報告も行われる。さらにランチョンセミナーとして日本栄養経営実践協会代表理事の宮澤靖氏の登壇も決まっている。詳細は決定次第、本紙や協会ホームページで発信していくので、随時確認いただきたい。

大会のメインプログラムとなる医療経営士による演題発表は、今回は8枠が用意された。演題については、①医療経営士による病医院経営改善・改革取り組み事例、②医療経営士が考える病医院の未来像、成長戦略——の2つのテーマで募集。すでにホームページの特設サイト上で受付が始まっている。昨年、一昨年

は撮影した動画を提供いただき、ネット上で閲覧する形で行ったが、今大会では会場に登場し、壇上で発表いただく予定だ。全国大会は医療経営士が全国から集い、地域や職種を超えて親交を深めていただくことが大きな目的でもある。多くの会員にご参加いただくことを願っている。



全国から医療経営士が集う会場の熱気がついに帰ってくる(写真は仙台大会)

## 第12回 全国医療経営士実践研究大会 大阪大会

開催日  
2023年  
10月8日  
日

大会テーマ  
医療経営士が創造する  
病医院の未来像  
進化する医療経営とその成長戦略

参加エントリー/演題発表登録  
ホームページにて  
受付中!

会場  
ブリーゼプラザ・小ホール  
大阪市北区梅田2-4-9  
ブリーゼタワー7F



大会運営委員長 | 清水 鴻一郎 | 日本医療経営実践協会関西支部支部長/医療法人清水会理事長

# 想像力×創造力で 病院の確かな未来を描こう

2023年10月8日(日)に開催される第12回 全国医療経営士実践研究大会・大阪大会。大会運営委員長は関西支部支部長である清水鴻一郎氏が務める。2014年の京都大会以来9年ぶりの就任となった清水氏にお話を伺った。

**未来の病院の立ち位置を客観的に判断する力を**

第3回の京都大会以来、9年ぶりの関西圏での開催となる今回の大阪大会では、「医療経営士が創造する病医院の未来像」をテーマに掲げています。自院の未来像を描くためには、まず現状を把握することが重要です。今大会が開催される今年の秋から半年後には医師の労働時間上限規制が始まります。また、地域医療構想のゴールである2025年まで1年半というタイミングでもあり、病医院が今後の方向性を定めていくべき時期に差しかかっています。

病医院を運営していくにあたり、どのような医療を展開していきたいかを優先するのではなく、まずは地域において自院に求められるものは何かをしっかりと考えるべきではないでしょうか。医療経営士は地域の状況を把握したうえで自院の立ち位置を客観的に捉え、経営的な視点から方向性を指南するスキルが求められます。

さらに自院のブランディングも重要です。ブランディングを確立することで未来像が見えてきます。自院

の今後のあるべき姿を見据えながら、医師や看護師等のメデイカルスタッフをはじめとしたすべての職員に対し、ここで働く意味や価値について明確に示していくことも、医療経営士に課せられる役割となっていくことでしょう。

今大会では、全国から集まった医療経営士の皆さまが自身の取り組みや担うべき役割などについて発表し、活発な意見交換ができる場となることを期待しています。今回は大会テーマに「創造」という言葉が入っていますが、これには「想像」という意味も込めています。未来をクリエイティブ(創造)していくためにはイマジネーション(想像)が不可欠です。「こういう病院(医院)にしたい」という未来を描く「想像」から「創造」へと導いていただきたいと思っています。今大会をつうじて医療経営士の皆さまが「自院の未来像」と向き合える機会となりますことを願っています

**対面での交流から産まれる人間関係が大きな財産に**

コロナ禍で当大会は昨年までオンライン開催でしたが、今大会は4大会ぶりに



清水 鴻一郎 氏  
日本医療経営実践協会関西支部支部長/一般社団法人京都私立病院協会会長/京都清水メディケアシステム会長/医療法人清水会理事長/元衆議院議員

会場開催が戻ってきます。対面だからこそ登壇者の表情や情熱などもより強く伝わってきます。大切なのは、会場で得た知識や情報を自分の中に落とし込み、今後の業務にどう活かしていくかということです。

また、講演や発表を聴講することに加え、会場で出会った方々と会話を交わすことも貴重な情報源です。こうしたコミュニケーションからお互いの情報を交換・共有できるネットワークへと発展させていくことは、やがて大きな財産になることでしょう。今大会ではこのような会場開催ならではの醍醐味も味わっていただきたいと思っています。関西のパワーを存分に発揮できる大会となりますことを心から願っております。全国の医療経営士の皆さま、ぜひ会場に足をお運びください。

TOPICS

**給食部門の経費削減を考えるより  
管理栄養士が活躍できる環境づくりを**

日本医療経営実践協会は3月27日(月)、日本栄養管理実践協会代表理事の宮澤靖氏を講師に迎え、給食部門の危機を乗り越えるための緊急セミナーをオンラインで開催した。テーマは「知っておくべき給食部門の経営管理」。当日は、医療経営士のほか栄養経営士、管理栄養士など約100名が参加した。宮澤氏はまず入院時食事療養費が20年以上据え置きという現状にふれ、「このままでは適切な栄養サポートがむずかしい」とし、給食部門の改革が急務であると訴えた。続いて病院において管理栄養士の病棟配置が進んでいないことを指摘し、管理栄養士が病棟に出て患者への栄養サポートのクオリティを上げていくことが重要だと述べた。

さらに2022年度の診療報酬改定での栄養分野のトピックを紹介し、「入院栄養管理体制加算」の算定等で大きな収入増につながった事例を報告。管理栄養士が病棟に出ていくことによって病院経営にとってプラスであることを示した。

**管理栄養士の業務のイメージ**

【現状】「病棟配置」の管理栄養士の業務に偏重し、入院患者の栄養管理、外来患者の栄養管理、入院患者の給食の管理、入院患者の給食の管理、入院患者の給食の管理

【未来】「病棟配置」の管理栄養士の業務に偏重し、入院患者の栄養管理、外来患者の栄養管理、入院患者の給食の管理、入院患者の給食の管理、入院患者の給食の管理

管理栄養士を病棟に出そうと強く訴えた宮澤氏

支部NEWS 東北支部

# 経費高騰への対策は“真水”の増収 ～みやぎ仙台ネットワーク～



みやぎ仙台ネットワークは4月14日(金)、第15回となる勉強会を開催した。『経費高騰に打ち勝つ病院経営を考える』をテーマに、同ネットワークの幹事でもある医療法人松田会事務部部長の佐竹直也氏が講演を行った。

佐竹氏はまずマクロな視点からの話として、ウクライナ情勢やインフレによる費用の高騰と、コロナを経ての受療行動の変化について言及。後者についてはコロナ後に戻るかどうかの見極めが重要と指摘した。さらに今後はオンライン診療が当たり前になり病院に来ることが普通ではなくなるかもしれないとも述べ、迅速な経営判断の重要性を強調した。

次に収益を増やす方法について、材料費を使わない“真水”の増収を考えることが大事という佐竹氏。「差額ベッドは予定入院時に入院支援センターでしっかりとニーズを引き出すことで利用率を上げられる」「入院時支援加算2は当たり前のことをやれば取れるので取りこぼしをなくす」「画像等手術支援加算は術中ナビゲーションシステムでなくても算定できる」等具体的な方策を紹介した。さらに週末の病床利用率低下をいかに防ぐかも重要なポイントとし、そのためにはスタッフ間で共通認

識を持つことが大事だと述べた。

続いて費用の削減については、「医療機器の保守契約はフルメンテナンス契約よりもスポット点検で交換部品は都度払いのほうが経済的なことが多い」「電子カルテの保守料金や新規医療機器の接続料等、しっかりと価格交渉することが大事」と、メーカー側の言いなりになっていないかを見直すことの重要性を強調した。また価格交渉においては、ベンチマークのできるサービスを活用して交渉材料を用意することが有効だと話した。

最後に佐竹氏は「小さくてもいいので“真水”の増収を探ることが大事。真水の増収は経

費を掛けた増収とは別物で影響が大きい。取り組みを進めていくためには院内データを見える化し、根拠となる納得感の得られやすい交渉資料を作成することが重要」と話し、講演を締めくくった。

後半は事前に集めた質問についてのディスカッションが行われた。「電気代」「人件費」「医薬品・材料費」「その他」といった項目ごとに、寄せられた質問に対して意見交換を実施。「その他」ではチャットGPTを病院でどう活用できるかといった話題で、「問い合わせBOT等を作れば電話対応を減らせるのでは」といった意見も上がった。

## 自主勉強会の代表に聴きました！

### 持続可能な勉強会の運営を目指して

みやぎ仙台ネットワークは2020年12月に1回目の勉強会を始めてから、知恵袋的な勉強会をイメージしながら運営してきました。今回は経費高騰にどう対応するかという視点で、自分の仕事や外部で得た知見を基に、当たり前のことを今やるという、なるべくシンプルな内容をお伝えしたつもりです。

今後の展望としては、「みやぎ仙台ネットワーク」らしさ、オリジナリティを大切にしつつも他地域、他業種の方々や時々著名な講師にもご登壇いただければと考えています。無料で勉強会にこだわっていますので、今後もオンラインを基本とし、運営側の私たちがなるべく負担がかからない持続可能な勉強会を運営していければと思っています。



みやぎ仙台ネットワーク幹事  
医療法人松田会事務部部長  
佐竹直也氏

## 事務局掲示板

### 会報誌『理論と実践』投稿募集中 自分の声を会員に届けよう！

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆様からの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩みから、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。

#### 【お問い合わせ】

日本医療経営実践協会事務局  
03-3553-2906 info@jmmpa.jp

### 2023年度試験ポスターが完成 掲示していただける会員の方を募集中！

2023年度「医療経営士」資格認定試験ポスターを掲示していただける会員の方を募集しています。ご希望の方は、「医療経営士試験ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数を明記の上、下記お申し込みメールアドレスへご連絡ください。A4判フライヤーもご用意しています。皆様のご応募をお待ちしています。



#### 【お申し込み】

E-mail :  
info@jmmpa.jp

## PICK UP 研究会

### 関西支部

#### 第33回関西医療経営勉強会

### 「Management 3.0」体験ワークショップ

「Management 3.0」とは、複雑なビジネス状況に対応できるアジャイルなマネジメントの理論と実践法のこと。自己組織化や奉仕型リーダーシップを実現することで、メンバーの多様な意見を取り入れてより良い成果を生み出したり、より働き甲斐のあるチームの実現が期待できる。今回の勉強会では、今の組織に少しずつ試し、取り入れやすいさまざまなプラクティスについて体験し、気づきを共有する機会を提供する。

- 日時 2023年5月13日(土)14:00~16:00
- 開催形式 オンライン(Zoom)
- 講師 鹿嶋康由氏(Management 3.0 国際ライセンス ファシリテーター)
- 参加費 無料
- お問い合わせ先 社会医療法人甲友会 西宮協立脳神経外科病院 安全管理室 担当:前田 哲 maeda.s@nk-hospital.or.jp

### 関西支部

#### 医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士 関西支部合同研究会

### こんなときどう対応する？ 病院でよくある法律相談 ～医師で弁護士の講師が教える やさしい法律のはなし～

関西支部では医療・介護福祉・栄養の3経営士の支部による合同研究会を開催している。6月の合同研究会のテーマは法律。外来や病棟の日常で起きる出来事には、法律で解決できることもたくさんある。患者の行為/医療者の行為はどこから違法なのか？ 患者さんへの初期対応でミスしないコツはあるのか。実際によくあるケースに応じて、医師で弁護士の山崎祥光氏に解説していただく。

- 日時 2023年6月4日(日)14:00~16:00 ※後日アーカイブ受講可
- 開催形式 大阪会場+オンライン(Zoom)
- 講師 山崎祥光氏 (弁護士法人御堂筋法律事務所 弁護士)
- 参加費(税込) 会員2,000円/一般3,500円
- 定員 会場30名(先着順)・オンライン50名
- 主催 株式会社日本医療企画
- お問い合わせ先 株式会社日本医療企画 関西支社 担当:新免(しんめん) TEL:06-7660-1761

## 第38回「医療経営士3級」資格認定試験 結果詳報

## 1,170人が受験、新たに466人の合格者が誕生！

一般社団法人日本医療経営実践協会は、2月26日(日)、第38回「医療経営士3級」資格認定試験を全国28会場で実施し、1,170人が受験、466人が合格した。  
今回の試験で、3級試験における合格者累計は2万3,000人を突破し、2万3,182人となった。  
結果詳細について報告する。

## 3級受験申込者、累計6万1000人を突破！ 3級合格者、累計2万3000人超えを達成！

## ●結果概要【表1】

受験申込者数1305人のうち1170人が受験(受験率89.7%)し、466人が合格した(合格率39.8%)。

この結果、累計受験申込者数は6万1090人、累計受験者数は5万4318人、累計合格者数は2万3182人となった。

## ●年代別構成【表2】

受験者数・合格者数ともに「30歳以上39歳以下」が最多となり、「40歳以上49歳以下」が続いた。

合格率では「50歳以上59歳以下」が47.3%と最も高く、次いで「29歳以下」が42.0%と健闘。受験者数・合格者数ともに最多であった「30歳以上39歳以下」は37.5%で、「40歳以上49歳以下」(37.4%)と拮抗する形となった。なお、前回(第37回)試験の合格率が29.7%の「29歳以下」をはじめ、全年代で前回合格率を上回った。

## ●勤務先別構成【表3】

受験者数・合格者数ともに「病医院」が最多で、そ

の後に「医薬品製造・卸売」が続いた。

一方、合格率では「大学生・短大生」が53.8%と際立って高く、次いで「医薬品製造・卸売」(44.8%)、「その他」(41.6%)が続いた。受験者数・合格者数ともに最多だった「病医院」の合格率はわずかで、あるが4割を下回る結果となった。

2023年度の試験日程は下記のとおり。3級試験3回、2級試験2回、1級試験1回(一次、二次)の実施予定だ。多くの方々の挑戦をお待ちしている。

	第38回試験	第1～38回試験累計
受験者数	1,170人	54,318人
合格者数	466人	23,182人
合格率	39.8%	42.7%

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	238人 (20.3%)	100人 (21.5%)	42.0%
30歳以上39歳以下	371人 (31.7%)	139人 (29.8%)	37.5%
40歳以上49歳以下	345人 (29.5%)	129人 (27.7%)	37.4%
50歳以上59歳以下	186人 (15.9%)	88人 (18.9%)	47.3%
60歳以上	30人 (2.6%)	10人 (2.1%)	33.3%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	359人 (30.7%)	143人 (30.7%)	39.8%
医療関連企業	263人 (22.5%)	104人 (22.3%)	39.5%
医薬品製造・卸売	279人 (23.8%)	125人 (26.8%)	44.8%
医療機器製造・販売	65人 (5.6%)	19人 (4.1%)	29.2%
金融機関	78人 (6.7%)	21人 (4.5%)	26.9%
大学生・短大生	13人 (1.1%)	7人 (1.5%)	53.8%
その他(個人等)	113人 (9.7%)	47人 (10.1%)	41.6%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。  
※勤務先別の「金融機関」は第6回から、「医薬品製造・卸売」は第23回から、「医療機器製造・販売」は第30回から追加された。  
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

■医療経営士3級	【第39回】	6月11日(日)
	【第40回】	10月15日(日)
	【第41回】	2024年2月18日(日)
■医療経営士2級	【第25回】	6月11日(日)
	【第26回】	10月15日(日)
■医療経営士1級	【第11回】	第一次試験 9月3日(日)
		第二次試験 12月3日(日)

締切迫る！

第6回(2023年度)「医療経営に関する研究助成」

懸賞論文「日本医療経営実践賞」案件募集中

一般社団法人日本医療経営実践協会では、国民に安全な医療の提供を行う基盤を構築するために、医療および経営の研究と実践、現場感覚を備えた人材の育成、「民」主役の医療の確立に資することを目的とする「医療経営に関する研究助成」として、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の案件を募集しています。

【募集内容】 医療経営に関する論文でテーマは自由とする  
【対象者】 医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ  
【懸賞金額】 優秀な論文を表彰し、最優秀賞には賞金100万円を授与する  
【応募締切】 5月15日(月) ※当日消印有効  
【申請方法・詳細】 必ず専用サイト(<http://www.jmmpa.jp/association/grant/>)をご確認ください  
【審査・選考】 選考委員会において公正かつ慎重に審査し、採否を決定します